



## 遺伝性大腸癌の臨床病理学的検討

2000年1月から2017年11月に当院で大腸癌に対して治療を行いバイオバンク・ジャパンに登録された患者さん

### 研究協力をお願い

当科では「遺伝性大腸癌の臨床病理学的検討」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は2000年1月から2017年11月に大腸癌のために治療を受けられ、バイオバンク・ジャパンに登録された患者さんの遺伝子や病理学的な特徴を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

### (1) 研究の概要について

研究課題名：遺伝性大腸癌の臨床病理学的検討  
研究期間：研究実施許可日～2027年3月31日  
研究責任者：日本医科大学付属病院 消化器外科 山田岳史

### (2) 研究の意義、目的について

本邦で大腸癌は男女を問わず全悪性腫瘍の中で最も罹患率・死亡率の高い腫瘍のひとつで、診断・治療のさらなる向上が求められています。大腸癌の5%は遺伝的な素因が関連しているとされ、以前登録していただいたバイオバンク・ジャパンの解析結果でも大腸癌患者さんの3.5%に遺伝性腫瘍に関連する病的な遺伝子変異が同定され、Lynch症候群、遺伝性乳がん卵巣がん(HBOC)などが含まれていました。しかし、これらの遺伝性大腸癌の詳細な臨床像は明らかではありません。本研究では、遺伝性大腸癌と非遺伝性大腸癌を比較することでそれぞれの臨床病理学的特徴を明らかにすることを目的とします。

### (3) 研究の方法について(研究に用いる試料・情報の種類)

2000年1月から2017年11月に日本医科大学付属病院消化器外科にて、バイオバンク・ジャパンに登録していただいた患者さんの遺伝情報などをバイオバンク・ジャパンから受領し、予後や治療経過などの臨床情報と比較検討を行います。予後や治療経過を更新するために、以下の情報をカルテから追加で取得させていただきます。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：生殖細胞系列のゲノムデータ、家族歴、腫瘍の病理学的情報、画像情報、血液データ、手術・化学療法に関する情報等

### (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(文部科学省・厚生労働省・経済産業省)」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

### (5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

### (6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 消化器外科 病院教授 山田 岳史  
〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5  
電話番号：03-3822-2131(代表) 内線：24210  
メールアドレス：y-tak@nms.ac.jp